

# 1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	国語科	科目	現代文B			単位	3	単位
対象コース	S C文系 A C文系	コース	対象クラス	2 年	2 (文系) 組			
使用教科書	高等学校 改訂版 現代文B (第一学習社)							
使用副教材	進研 WINSTEP 現代文2 (ベネッセ)							

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

<p><b>学習目標：</b>この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>近代のすぐれた文章を読み、ゆたかな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。</p>
<p><b>学習内容：</b>この科目で学習する大まかな内容</p> <p>以下の二つの分野を学びます。</p> <p>(1) 現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。</p> <p>(2) 近現代の文学的文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語能力を身につけます。</p>
<p><b>学習方法：</b>この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校 「考える手順」を身に付けることが最も大切です。正答に至るまでの思考の手順をノートに書きためましょう。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得していきましょう。</p> <p>(2) 家庭 家庭学習の時間は、暗記とドリル学習にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。家庭で得た知識を用いて授業で思考することが、最も効果的な学習方法となります。</p>







# 3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

<p><b>評価方法：</b>何を使って評価するのか</p> <p>(1) 定期考査→年5回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。</p> <p>(2) 授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、提出期限内に点検・評価します。</p> <p>(3) 長期休暇中の課題→読書感想文、現代文の演習問題を宿題として課します。</p> <p>(4) 学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。</p>	
評価における定期考査の割合	70 %

# 4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

<p><b>評価の観点：</b>この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。</p> <p>(2) 思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。</p> <p>(3) 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。</p> <p>(4) 知識・理解 定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。</p>
--



## 5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK		
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×	
1	4	評論（一） 「自他の「間あい」」 鷲田清一	対比型の文章を読み、二つのものを比較しながら筆者の考えをとらえます。抽象的な語句の意味を理解し、文章を読み取る力を養います。  対比型の文章を読み、二つのものを比較しながら筆者の考えをとらえます。抽象的な語句の意味を理解し、文章を読み取る力を養います。  近代詩・現代詩に親しみ、鑑賞の方法、技法について学び、想像力を豊かにし、言葉に対する感覚をみがきます。詩の中の、ひとつひとつの言葉にこめられた、作者固有の意味を理解します。	●	●		●		
	5								
	6	評論（三） 『手の変幻』清岡 卓行		●	●	●			
	7	詩 『永訣の朝』宮沢 賢治  		●		●			
2	8	小説（一） 『山月記』 中島 敦  	情景から心理を把握する力をつけましょう。単なる読書とは違う観点から、表現に沿った的確な読解をしたうえで、主題に迫ります。  評論の論旨を正しくとらえ、従来の視点とは異なる筆者独自の主張を理解します。異文化や社会内の人間関係のあり方について、自分なりに意見を深め、文章で表現する力を養います。  語り手の発話位置と時間の流れを意識して、構成を確認します。指示語の内容、言い換えられている語句、特殊な言い回しに注目しながら鑑賞しましょう。	●	●		●		
	9	評論（三） 評論 「存在としての建築」 隈研吾  		●	●		●		
	10	小説 「タオル」 重松清  		●	●	●			
	11	評論（三） 『働かないアリに意義がある』 長谷川 英祐  		●	●		●		
	12	小説（二） 『こころ』 夏目漱石  		●	●	●			
小説を主体的に読解・鑑賞する姿勢を身につけます。小説の提起する問題を、自己の問題に引きつけて考えることによって、人生に対する理解を深めます。									

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

重視する評価の観点

CHECK

学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
3	1	小説（ 「葉桜と魔笛」 太宰治 	青森県出身の文豪の文章を読み味わいます。回想形式となっているこの小説全体の構成を的確にとらえ、テーマについて考えます。	●	●	●		
	2	評論		●	●	●	●	
	3	「私」中心の日本語」 森田良行 	評論の論旨を正しくとらえ、内容を理解する力を深めます。身近な現象から本質的なものをとらえていく思考方法を学びます。					

【SDGsの各ターゲットについて】  
ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】  
高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は  
アイコンをクリック

道徳

※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に  
コピーしてご使用下さい

### SDGsターゲットアイコン



### 道徳教育アイコン



下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に  
コピーして下さい

### SDGsターゲットアイコン



### 道徳教育アイコン

